

からだステーション

2021年
7月号
presented by
荻窪接骨院

ワクチン接種

荻窪接骨院・荻窪治療室から、からだに関する情報を毎月発信します。健康、筋トレ、怪我の予防など、からだに関することをお伝えしますので、この情報が少しでも患者さんのためになれば幸いです。初の今回は「ワクチン接種」について考えます。

新型コロナが収束するには？

新型コロナウィルスが収束するには3つの状態が考えられます。ひとつは国民の多くが新型コロナウィルスに感染して集団免疫を獲得すること、ふたつ目は新型コロナウィルスに有効な治療薬が出来ること、そして3つ目は国民の多くがワクチンを接種して感染予防免疫を浸透させることです。

集団免疫の獲得とは？

集団免疫とは多くの人が新型コロナウィルスに感染し、集団で免疫を獲得して流行を抑えようとする感染拡大防止の考え方です。しかし集団免疫を獲得するには国民の6割以上の人が感染しなければなりません。2020年3月、イギリスのジョンソン首相は「イギリスは集団免疫の獲得を目指す！」と言って、新型コロナウィルスに対する政策を、何もしないことを政府の方針としました。ところがイギリスではその後も感染者が急激に増え続けただけでなく、死者も予想を超えて増加し続けました。ジョンソン首相の集団免疫の獲得を目指すという策は失敗に終わったのです。



イギリスのジョンソン首相

スペイン風邪はどうやって収束したの？

今からちょうど100年前、スペイン風邪によるパンデミックが起こりました。1918年から1920年の出来事です。当時の日本の人口は5千6百万人で、スペイン風邪による死者は45万人でした。死亡率は0.8%です。スペイン風邪が収束するのに3年もかかったのですが、どうやって収束したのでしょうか？それは集団免疫の獲得です。当時はインフルエンザに対する治療薬もワクチンもなかったため、国民の6割から7割の人がスペイン風邪に感染し、集団免疫を獲得してそれ以上感染しなくなりました。新型コロナウィルスが収束するのも3年かかるのでしょうか？集団免疫の獲得を待っていたら3年以上かかってしまいますし、今の人口から死亡推定人口を



スペイン風邪の時の日本の様子

換算すると、百万人以上の人が死亡することになってしまいます。ですから現在の日本で集団免疫の獲得を目指すことは出来ません。

新型コロナウィルスの治療薬

通常薬の開発に要する年月は9年から17年と言われています。先ず薬の元となる化合物を作り、いくつもの臨床試験を行い、薬の有効性、安全性、品質が証明された後、国に承認を得るための申請を行います。しかし、国に申請する前に途中の段階で開発を断念せざるを得ないことがよくあるほど、薬の開発には費用と時間がかかります。新型コロナウィルスの治療薬を短期間で作るのには不可能です。集団免疫の獲得は無理、治療薬を作るには時間がかかり過ぎる、だからワクチンの接種に期待されているのです。

イスラエルの状況

ワクチン接種が進む中東のイスラエルでは、6月15日から屋外でのマスクの着用義務

が解除されました。国内で生活する上での規制はほぼなくなり、住民は以前の生活を取り戻しつつあります。16歳以上の人口の8割以上がワクチン接種を終えたイスラエルでは、一日の新規の感染者数が平均で12人にまで減少し、6月からは集会の際の人数制限や、接種の証明書の提示義務がなくなりました。さらにイスラエル政府は6月15日、国際線の利用や、ワクチンを接種していない人が病院や高齢者施設を訪れる場合を除き、屋内でのマスクの着用義務を解除しました。エルサレムのショッピングモールでは、ほとんどの人がマスクをせずに買い物や食事を楽しんでいます。



マスクなしの会食

日本のワクチン接種

日本でのワクチン接種が加速しています。新型コロナウイルス感染症対策の切り札と期待されるワクチン接種の加速に向け、企業や大学などが自ら会場を設けて行う職域接

種が本格的に始まりました。大企業による職域接種は、既に全日本空輸や日本航空が先行してパイロットらを対象に開始しています。ソフトバンクグループが近隣住民らも含めて約25万人を目標に接種を本格化させています。他の企業も同日から接種を順次進め、日本郵政グループは年末までに約24万人を目指します。森ビルとセブン&アイ・ホールディングスはそれぞれ約10万人、トヨタ自動車は約8万人への接種を計画しており、接種のスピードが一気に加速しているのです。



職域接種の拡大

大企業や大学だけでなく、あらゆる職種への接種も拡大しています。東京都は6月8日より築地市場跡地に大規模接種センターを設置し、警察官、消防署員、柔道整復師、鍼灸師、あんま指圧マッサージ師への接種を始めました。当院でも多くの先生が1回目

のワクチン接種を終え、7月中に2回目の接種を行います。ワクチン接種は新型コロナウイルスを収束させる唯一の手段であり、自身のからだと患者さんを守るために必要だと考えています。

ワクチン接種の副反応

新型コロナウイルスの収束に期待されるワクチン接種ですが、やはり気になるのが副反応です。接種部位の疼痛や倦怠感、頭痛や発熱が報告されています。1回目の接種より2回目の方が強い副反応が出ます。なぜ2回目の方が、副反応が強く出るのでしょうか？1回目の接種で新型コロナウイルスへの抗体が出来ます。そして2回目の接種で「異物が体内に入ってきた！」とからだに反応し、免疫力が働いて異物を追い出そうと闘うため、強い副反応が出るのです。副反応は高齢者より若い人が出やすいのですが、高齢者でも健康で筋肉量が多い人に副反応が出ます。つまりもとも免疫力が高い人が2回目の接種を受けると異物と闘

うために副反応が出やすいのです。

市販薬を飲んでもいいの？

では副反応が出た場合、市販薬を飲んでもいいのでしょうか？アセトアミノフェンが含まれた解熱鎮痛剤の服用を厚生省は推奨しています。パラリン、ノーシン、カロナールなどの市販薬にアセトアミノフェンは含まれています。2回目の接種後は翌日の仕事はお休みにして、ゆっくりと休んでください。

いかがでしたか？ワクチン接種についてお分かりいただけたと思います。今後いろいろな情報をお伝えしますので、からだステーションをご愛読していただけますように、よろしく申し上げます。

参考文献 厚生労働省HP / ヤフーニュース / Bloomberg

ひとくち医学用語

副作用と副反応

医薬品を投与した後に体に及ぼすのが副作用、ワクチン接種後に体に良い反応が出るのが副反応と言う。つまり医薬品の違いで使いわけ。